

障害者が安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けた共同宣言（案）

平成28年7月26日、相模原市にある神奈川県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」において、多くの入所者が殺傷されるという極めて凄惨な事件が発生しました。

この事件は、施設の元職員が「障害者はいなくなったほうがいい」といった間違った考えのもとに引き起こしたと伝えられたことから、障害者やその家族、障害者の支援に携わる方をはじめ、多くの方々に不安や悲しみ、言いようのない怒りを与えました。

この4月には、障害を理由とした差別の解消を目指す「障害者差別解消法」が施行されたところであり、これからさらに取組を強化していくべきまさにこのタイミングでこの事件が発生したことは、誠に遺憾であります。

障害者支援施設などでは、これまで、開かれた施設として地域の方々と積極的に交流してきました。九都県市首脳会議を構成する都県市でも、これまで障害者の暮らしを支え、理解を促進する取組を進めてまいりました。

この事件を受け、施設と地域との関わりへの影響が懸念されています。しかし、私たちは決して後戻りすることはありません。これからも地域との関わりを閉ざすことなく、ともに生きていく社会を実現するための取組を少しの揺るぎもなく着実に進めてまいります。

また、このような事件が二度と起こらないようにするためにも、一人ひとりが障害者への理解を深め、偏見や差別を無くすことが重要です。

そこで、九都県市首脳会議は、すべての人の命は平等でかけがえのないものであるという理念のもと、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、都民・県民・市民の皆様とも連携しながら、断固とした決意を持って、全力で取り組んでいくことを宣言します。

平成28年10月26日

九都県市首脳会議

座長	横浜市長	林文子
	埼玉県知事	上田清司
	千葉県知事	森田健作
	東京都知事	小池百合子
	神奈川県知事	黒岩祐治
	川崎市長	福田紀彦
	千葉市長	熊谷俊人
	さいたま市長	清水勇人
	相模原市長	加山俊夫

ともに生きる社会かながわ憲章

～この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します～

平成 28 年 7 月 26 日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において 19 人が死亡し、27 人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。

私たちは、これまでも「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。

そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。

このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

- 私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を
妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や
差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、
県民総ぐるみで取り組みます

平成 28 年 10 月 14 日

神 奈 川 県